

# 人 ピープル



県高校百人一首かるた大会優勝  
入内島 徳也さん(15) 幸塚町

## 全国大会では決勝進出を目標に

臨江閣で開催された、第十回県高校百人一首かるた大会で、中・上級者の間で競われるA級の優勝を果た

した。  
「高校に入学したばかりで、少し練習不足でしたが四戦全勝。目指し

いた優勝を手にすることができました。二回戦以降は同じ学校の先輩や同級生との対戦が続き、やりづらいい面もありましたね。でも、自分のペースに持ち込む駆け引きがうまくいったんだと思います」  
現在、県立前橋高一年生。百人一首かるた部に所属し、腕を磨いている。小中学生の時から、全国大会で優勝、準優勝するなど、これまでも数々の大きな大会で好成績を残してきました。

「姉に誘われ、小学校三年から習い始めました。初めのころは、歌の意味が分かりませんでしたから、丸暗記するだけ。それほど上達も早くありませんでした。その後、進級し進学するにつれ、多くの歌を理解できるようになり、また、試合に勝て

るようになってくると、ますます百人一首が面白くなってきました。今は季節感の感じられる歌が大好き」  
この大会でA級の上位八人が県代表として選抜チームを組み、八月に神奈川県藤沢市で行われる全国高校総合文化祭・小倉百人一首かるた部門に団体出場する。

「群馬県選抜チームは今まで、決勝リーグへ進んだことが一度もありません。ぜひ、予選を突破したいですね。そのためには、夏休みに入ったら、時間をつくって東京で開かれる練習会にも参加したいな」

高校生活はまだスタートしたばかり。三年間で多くのことを学び、体験するだろう。百人一首での活躍はもちろん、それで鍛えた集中力を生かし大きく羽ばたいてほしい。

## 学校つうしん 全校児童で 体育集会



細井小学校

細井小では、毎月一回、全校児童が校庭に集まり、朝の体育集会を行っています。これは、平成十二年度から、体力づくり実践推進校に指定されている取り組みの一つ。今年度二回目となる五月十六日の集会では、「ぐんぐん体操」「足じゃんけん」を行いました。

元気いっぱい体を動かして、とても楽しそう。さわやかな空気の中で授業前の触れ合いの時間を過ごし、一日をスタートさせていました。



## Pick up ぴっくあっぷ

### 「母の日作文」表彰式

国際交流広場で、五月十二日にQのまち「母の日作文コンクール」の表彰式が開催されました。毎年、中心商店街協同組合が行っている春のフェスティバルの一環、小中学生を対象としたこのコンクールは、今年で十回目です。入賞した子どもたちは



お母さんらが見守る中、ちょっぴり緊張した表情で、賞状を手に入れました。母の日とても素晴らしい思い出になったようです。